

科 目 名	生徒指導論					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	村 山 詩 帆						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講義において、担当教員は教育相談や進路指導を含め、生徒指導の歴史的な経緯と理念の変遷、学校教育における教育課程と生徒指導の関係、さらに実践と課題について、教育学・社会学・社会心理学などの知見を交えて解説する。また、担当教員は受講生と共に、生徒指導が個性の伸長、社会的な資質・態度の形成に必要な指導・援助といった規範的なテーマについて討議し、解題する試みを通して、受講生が将来、児童・生徒の生徒指導を担当するにあたって欠かせない思考力・洞察力を高める。						
授 業 の 到達目標	①知識・理解 ・現代の学校教育において、管理・経営、教授・学習に対して指導・相談がどのように位置づけられているかを理解する。 ・生徒指導を取り巻く社会の動向について、資料・データをもとに客観的に理解する。 ・生徒指導の領域・内容、方法と組織化の在り方について、教育学や社会学、心理学などの研究成果にもとづき理解する。 ②思考・判断+⑤技能・表現 ・生徒指導が求められる社会の変化について、資料・データを用いて説明できる。 ・学校教諭の業務や児童・生徒の多様性をふまえて、生徒指導の在り方について批判的に吟味できる。 ③関心・意欲+⑤技能・表現 ・なぜ生徒指導や進路指導が必要になるのかについて、第三者が納得するよう説明できる。 ・教育相談や進路指導を含めて、生徒指導について現実的かつ積極的な方向性を示すことができる。 ④態度+⑤技能・表現 ・生徒指導における「望ましさ」を、通俗的な言説に頼ることなく思考し、それを述べる事ができる。 ・自らが目指すべき生徒指導の方針を主体的に見出し、それを説明できる。						
学 習 方 法	受講生が授業への関与を強め、思考力・洞察力を高める仕組みとして、講師が設定するテーマについて受講生に所見を文章化させ、その所見に基づいて予備討議と本討議を行い、小テスト等で学習状況を確認する。						
テキスト及 び参考書等	授業時間毎に資料・教材等を配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎	◎	◎		70	
小テスト等	○					10	
宿題・授業外レポート		○	○			10	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	○	○		10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第1週	オリエンテーション（次回までの課題・予備討議資料を作成する）						
第2週	予備討議（次回までの課題・予備討議の内容を整理する）						
第3週	生徒指導とは何か（次回までの課題・配布資料の内容を理解する）						
第4週	組織としての学校（次回までの課題・配布資料の内容を理解する）						
第5週	クラスルームと秩序（次回までの課題・配布資料の内容を理解する）						
第6週	いじめと生徒指導（次回までの課題・配布資料の内容を理解し、次回までの課題・予備討議資料を作成する）						
第7週	本討議・小テスト（次回までの課題・予備討議の内容を整理し、小テストの内容を理解する）						
第8週	試験と解説						
第9週							
第10週							
第11週							
第12週							
第13週							
第14週							
第15週							
第16週							
備 考	生徒指導に関わる諸問題を教師のみならず、生徒や保護者の視点に注目しながら受講してください。						